

# 国分寺市就労支援プラン 就労支援事業進行管理票

対象：平成27年度

# 国分寺市就労支援プランに基づく就労支援事業の評価について

## ■指標に対する達成状況

- 対象指標 → 働きかけの対象は？
- 活動指標 → 何をどのくらいしたのか？
- 成果指標 → 結果はどのくらい？

- ・ 主要課題に対して、適切と思われる指標を選択し、評価を行います。
  - ※各事業内容で状況は異なるが、概ね以下の考え方により評価を行う。
    - 「目標を大幅に上回った」＝目標に対し120%以上及び前年対比減少していない
    - 「目標通り達成した」＝目標に対し100%以上120%未満
    - 「概ね達成した」＝目標に対し90%以上100%未満

## ■指標評価

指標評価は、各就労支援事業を評価する上で、数値で示せる部分について記載したもので、計画各年度において各所管課で達成が必要と判断している数値（他の計画や制度等で設定している場合はその数値）を目標値として設定し、評価する。

## ■有効性について

達成状況に関わらず、基礎自治体が担う事業としての有効性・必要性について評価します。この項目については、基礎自治体が就労支援事業を進めていく上で、最も重要な部分と考えていることから評価点を2倍とします。

## ■雇用・就業効果

就労支援に係る事業であることから、雇用・就業効果について一定の評価を行います。

- ・雇用・就業効果が直接的・間接的に関わらず、実施計画の「事業内容」で求められている内容に沿った事業実施を行っていれば、「3」評価とする。
- ・直接的な雇用・就業につながるなど雇用・就業効果が大きいと考えられる事業、もしくは実施計画の「事業内容」で求められている内容以上の効果が得られると考えられる事業等については「4」以上の評価とする。
- ・実施計画の「事業内容」で求められている内容に至らない内容の事業や、あきらかに達成状況が低い事業は「2」以下の評価とする。

## ■総合評価

総合評価は、実施計画事業の進行管理を行う上で、各事業を総体的に評価したものです。実施計画では、法や制度に基づき実施しているものや庁内連携のための連絡会など就労支援としての効果が計れず、評価が低くなってしまいう事業もあります。このことから、主要課題に対応するための各事業の有効性、必要性という部分に重点を置きつつ、次年度以降の実施計画事業を継続的、効果的に進めるための指標として考えます。

【A：16点～20点／B：11点～15点／C：8点～10点／D：3点～7点】

A	基礎自治体が就労支援を推進する上で、大きな役割を担っており、実施計画の中で最も有効性、必要性が高い事業である。
B	基礎自治体が就労支援を推進する上で、有効性、必要性が高い事業である。
C	事業内容によるが、就労支援を推進していく上で、有効性、必要性について検証し、改善する部分があれば対応を図る。
D	事業内容によるが、基礎自治体が就労支援を推進していく上で、必要な事業か検証し、進行管理が必要かについても検討を行う。また、事業未実施などによる場合は、理由等を明確にし、改善点などがあれば対応を図る。

## 就労支援事業進行管理票リスト

基本方針	事業番号	実施計画事業名	対象者	所管課	専門部会総合評価					所管課総合評価	
					達成状況	有効性	雇用・就業効果	総合点	総合評価		
を就労解消に向けたため不安・悩み	情報提供の収集	1-1	就労支援情報の提供	全対象者	経済課	5	8	3	16	A	A
		1-2	女性就労支援図書コーナー	女性	文化と人権課	2	8	3	13	B	B
		1-3	障害者への就労支援の情報の提供と啓発	障害者	障害福祉課	5	6	3	14	B	B
	就労相談	2-4	障害者就労支援センターにおける就労相談	障害者	障害福祉課	5	8	4	17	A	A
		2-5	的確な相談窓口への誘導	全対象者	経済課	5	8	3	16	A	A
		2-6	生活保護被保護者等就労促進事業	生活保護法に基づく保護の被保護者及び要保護者	生活福祉課	2	8	4	14	B	B
		2-7	生活困窮者自立支援事業	経済的に困窮し、就労意欲のある者	生活福祉課	5	8	4	17	A	A
就労に向けた不安・悩みを解消するために	啓発活動	3-8	就労支援情報の提供(再掲)	全対象者	経済課	5	8	3	16	A	A
		3-9	中学生職場体験	中学生	学校指導課	4	8	3	15	B	B
		3-10	インターンシップ制度の活用(学生就業体験事業)	大学生	職員課	2	8	4	14	B	B
	雇用機会の創出	4-11	障害者団体への就労機会の拡大	障害者	障害福祉課	5	8	4	17	A	A
		4-12	高齢者の雇用機会の拡大	高齢者	地域福祉課	4	8	4	16	A	A
		4-13	市役所での障害者雇用の推進	障害者	職員課	4	10	4	18	A	A
		4-14	市の調達における雇用の促進	市民・事業者	契約管財課	4	8	3	15	B	B
		4-15	補助金事業による雇用創出	全対象者	経済課	2	8	1	11	B	B
		4-16	保育所の拡充による待機児童解消	子育て中の女性及びひとり親家庭の保護者	子ども若者計画課	4	8	3	15	B	B
		能力開発・訓練	5-17	母子家庭自立支援教育・給付金事業	女性	生活福祉課	2	8	3	13	B
	5-18		就労支援セミナーの実施	市民・事業者	経済課	2	8	3	13	B	B
	5-19		女性のための就労支援セミナーの実施	女性	文化と人権課	5	8	3	16	A	A
	5-20		庁内実習体験事業	障害者	障害福祉課	2	8	3	13	B	A
	地域支援体制の連携	6-21	国分寺市就労支援プラン連絡専門部会	—	経済課	5	8	3	16	A	A
		6-22	障害者就労支援連絡会	—	障害福祉課	5	8	3	16	A	A
		6-23	就労支援のための関係機関との連携	—	経済課	4	8	3	15	B	B

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	経済課	事業番号	1-1
-----	-----	------	-----

基本方針	就労に向けた不安・悩みを解消するために	対象者	全対象者
主要課題	<b>情報の収集と提供</b> ●就労支援事業を行っている国・都・市・企業の情報を随時収集し、市民及び事業者へ広く周知、提供していきます。特に就労困難者に重点をおいて、情報提供を進めます。 ●東京しごとセンター多摩、東京都労働相談情報センター（国分寺労政事務所）、ハローワーク立川、市障害者就労支援センター、中小企業大学東京校等との広域的な連携を進めます。		
事業名	就労支援情報の提供	事業内容	国・都・企業等が提供している情報を収集・整理し、市ホームページや市報等により、市民に提供するとともに、庁内関係各課の窓口に就労情報等を備えています。また、市の担当部署、公共機関、就労関係機関との情報交換を進め、情報の共有化と内容の充実を図っていきます。

対象年度の実績	市ホームページのほか、毎月15日号市報に東京しごとセンター多摩の就労支援情報を掲載するとともに、引き続き各関係機関のチラシ等を第1庁舎1階、第3庁舎1階に対象年代別に整理し配架した。また、関係機関の相談窓口案内をまとめた「国分寺市就労支援ガイド」を2,500部作成し、庁内16箇所での配架や関係機関6箇所（東京しごとセンター多摩、商工会、障害者センター、社会福祉協議会、シルバー人材センター、たましん）での配架、イベントでの配布をし、窓口案内の周知を進めた。			
---------	---	--	--	--

指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）
対象指標	—	—	—	—
活動指標	就労支援情報の提供場所	4箇所	22箇所	充実
成果指標	—	—	—	—

◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】

■		□		□		□		□	
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった

所管課評価	高い ←-----→ 低い					理由				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	東京しごとセンターや、東京都労働相談情報センターが市内にあり、当該機関が実施するセミナー等は、市内で開催されるものも多く、市報やチラシ等により随時市民へ提供する必要性は高い。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□	就労支援セミナー、就職面接会は対象別に開催されており、求職者と雇用事業者とマッチングさせるうえで効果的であり、その情報提供することは就業効果として、一定の効果があると考えられる。				
所管課総合評価	達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	A

専門部会評価	高い ←-----→ 低い					専門部会意見				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□					
専門部会総合評価	達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	A

今後の進め方				
□	■	□	□	□
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	就労支援ガイドを活用し、関係機関窓口を引き続き周知するとともに、各機関のチラシ等の情報を配架する場所をその他の場所に拡大するなど、情報を目にする場所を拡大することが引き続き課題。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当と考えるが、成果指標は評価の判断材料として重要である。成果指標の設定について次年度に向けて検討が必要。
---------------	---

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	文化と人権課	事業番号	1-2
-----	--------	------	-----

基本方針	就労に向けた不安・悩みを解消するために		対象者	女性
主要課題	<b>情報の収集と提供</b> ●就労支援事業を行っている国・都・市・企業の情報を随時収集し、市民及び事業者へ広く周知、提供していきます。特に就労困難者に重点をおいて、情報提供を進めます。 ●東京しごとセンター多摩、東京都労働相談情報センター（国分寺労政事務所）、ハローワーク立川、市障害者就労支援センター、中小企業大学東京校等との広域的な連携を進めます。			
事業名	女性就労支援図書コーナーの設置	事業内容	女性のための就労に関する新たな情報を収集するとともに、男女平等推進センターの利用者が必要な情報を容易に得られるよう、就労関係図書や情報誌、チラシなどの配架等を工夫するなど、積極的な情報提供を行っていきます。	

対象年度の実績	男女平等推進センターの一角に女性のための就労支援情報コーナーを設け、国や都からの情報提供を継続して実施した。男女平等推進センターの図書資料室に、女性の再就職に役立つ本の設置を継続して実施した。男女平等推進センター掲示板に、「もう一度働きたい方へ」というテーマで新聞切り抜きなどの掲示を継続して実施した。図書資料室の一部の本棚を、閲覧用テーブルもあるロビーに移動し、利用しやすくした。女性の就労支援につながる講座を2本実施し、図書資料室の紹介も行った。			
---------	---	--	--	--

指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）
対象指標	就労に関する図書の貸出冊数	2	2	20冊
活動指標	就労に関する蔵書点検・整理及び蔵書目録の改定	0	1	1回
成果指標	—	—	—	—

◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】

□		□		□		■		□	
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった

所管課評価	高い ←-----→ 低い					理由				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性（評価点×2）	□	■	□	□	□	女性の就労に関する国や都からの情報は、男女平等推進センターに集まるため、情報提供の役割を担う必要性は高い。				
雇用・就業効果（評価点×1）	□	□	■	□	□	事業内容に沿った情報提供を行ったため。				
所管課総合評価	達成状況	2	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	13	総合評価	B

専門部会評価	高い ←-----→ 低い					専門部会意見				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性（評価点×2）	□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。 平成27年度の女性活躍推進法成立による自治体の取組強化や同年度に実施した図書コーナーの配置換え等による今後の成果を期待する。				
雇用・就業効果（評価点×1）	□	□	■	□	□					
専門部会総合評価	達成状況	2	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	13	総合評価	B

今後の進め方				
□	■	□	□	□
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	前年度の課題であった図書資料室の改善を行い、利用しやすさは向上した。その結果、図書資料室の利用者は増加したが、今後は、就労関係の図書を借りやすくするための取組を検討する。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当と考えるが、成果指標は評価の判断材料として重要である。成果指標の設定について次年度に向けて検討が必要。
---------------	---

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	障害福祉課 (旧障害者相談室)	事業番号	1-3
-----	--------------------	------	-----

基本方針	就労に向けた不安・悩みを解消するために	対象者	障害者
主要課題	<b>情報の収集と提供</b> ●就労支援事業を行っている国・都・市・企業の情報を随時収集し、市民及び事業者へ広く周知、提供していきます。特に就労困難者に重点をおいて、情報提供を進めます。 ●東京しごとセンター多摩、東京都労働相談情報センター（国分寺労政事務所）、ハローワーク立川、市障害者就労支援センター、中小企業大学東京校等との広域的な連携を進めます。		
事業名	障害者への就労支援の情報の提供と啓発	事業内容	市障害者就労支援センターの機能の充実と障害者への十分な周知を行い、就労者の定着支援を図るとともに、障害者を雇用する企業側への啓発活動を行っています。

対象年度の実績	●公共職業安定所や障害福祉サービス提供事業所及び相談支援事業所等の関係機関と情報交換や連携を図るなど、地域における障害者就労支援のネットワークの強化に努めている。 ●雇用啓発セミナーは、就労支援センターのホームページや市報への掲載、関係機関への開催通知発送などにより周知を図り、30人の参加があった。 ●就労支援や就労訓練を継続して受けた結果、就職のタイミングを迎え、今年度は28人が一般就労している。			
---------	---	--	--	--

指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）
対象指標	登録人数	205	226	210人
活動指標	雇用開発セミナー開催	1回	1回	1回
成果指標	セミナー参加人数	38人	30人	25人

◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】

■		□		□		□		□	
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった

所管課評価	高い ←-----→ 低い					理由				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 (評価点×2)	□	□	■	□	□	雇用啓発セミナーは市内の事業主や支援者、市民を対象に開催しており、今年度は当事者と企業担当者からの発表により、雇用に際しての障害の理解を深めることができた。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□	雇用セミナーの開催により、障害者本人に対する就労への働きかけや意識改革、企業の障害者雇用の啓発につながっている。				
所管課総合評価	達成状況	5	有効性	6	雇用・就業効果	3	総合評価点	14	総合評価	B

専門部会評価	高い ←-----→ 低い					専門部会意見				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 (評価点×2)	□	□	■	□	□	所管課評価のとおりとする。 今後も引き続き情報提供、啓発を進めていただきたい。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□					
専門部会総合評価	達成状況	5	有効性	6	雇用・就業効果	3	総合評価点	14	総合評価	B

今後の進め方				
□	□	■	□	□
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	今後は、大企業と比べて障害者雇用が進んでいない中小企業に対し、毎年開催している雇用セミナーの中で、障害者雇用助成金制度や各種支援事業等を総合的に紹介し、中小企業事業主の障害者雇用を促進していく必要がある。また、雇用セミナーへの参加の呼びかけ方法も工夫をしていく必要がある。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当である。 さらに企業の障害者雇用を進めるべく、雇用セミナーの改善に努められたい。
---------------	---

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	障害福祉課 (旧障害者相談室)	事業番号	2-4
-----	--------------------	------	-----

基本方針	就労に向けた不安・悩みを解消するために	対象者	障害者
主要課題	<b>就労相談</b> ●市障害者就労支援センターにおいて、就労に関する相談を実施することにより、就労に関する様々な不安や悩みを払拭し、障害者が就労につながるような支援を図っていきます。 ●各関係機関との連携を深め、東京都等において行われている就労相談業務の相談機会の情報提供を行い、就労に関する精神的なサポートを行っていきます		
事業名	障害者就労支援センターにおける就労相談	事業内容	市障害者就労支援センターでは、生活面も併せ、コーディネーターが、就職準備支援から一般就労、再チャレンジへと一人ひとりの障害特性に配慮した支援を継続的に実施していきます。

対象年度の実績	●就労支援コーディネーターと生活支援コーディネーターが連携し、利用者の適正・力量を把握し、仕事に取り組む姿勢や社会性、職業能力等を高める等就労に向けた支援を行い、就職後は職場でのトラブルを未然に防止し、解決するために職場を訪問し、利用者、家族及び事業主に対し必要な助言や調整を行ってきた。 ●昨年度と比べ、相談人数が減少したものの、支援の困難度が増しているため、一人の相談にかかる時間が増えている。 ●定着支援対象者も職場内支援にかかる時間が増えたことにより、一人にかかる時間が増えたため延べ人数は微増となった。			
---------	--	--	--	--

指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）
対象指標	登録人数	205人	226	210人
活動指標	相談人数（延べ）	5,780人	4,965人	4,800人
成果指標	定着支援対象者	121人	136人	110人

◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】		◆選択した指標＝成果指標			
■	□	□	□	□	□
S 目標を大幅に上回った	A 目標どおり達成した	B おおむね達成した	C 目標に達しなかった	D 取組を行わなかった	

所管課評価	高い ←-----→ 低い					理由				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	就職準備として病状や生活面の安定を図ることが必要であり、就職後も安定して就労を継続できるように、職場を訪問し、利用者や家族及び事業主に対し必要な助言や調整を行うなど、就労支援コーディネーターや生活支援コーディネーターによる支援の役割は大きい。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	■	□	□	□	利用者の日常生活リズムの調整を図り、就労意欲や職業能力を高めるなど生活面と就労面の支援を一体的に行い、就職後は職場訪問を実施し、利用者及び事業主に対し必要な助言や調整を行うなど、雇用・就業効果は高い。				
所管課総合評価	達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	4	総合評価点	17	総合評価	A

専門部会評価	高い ←-----→ 低い					専門部会意見				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。 地域自立支援協議会立ち上げも平成28年度予定とのことなので、さらなる支援の拡充に努められたい。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	■	□	□	□					
専門部会総合評価	達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	4	総合評価点	17	総合評価	A

今後の進め方				
■	□	□	□	□
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	職場訪問等により、就職後に生じた職場不適應への対応などの支援を継続しているが、一人にかかる支援の困難性は増しており、相談支援事業所等関係機関との連携強化を図るなど、地域のネットワーク構築により、生活全般において重層的にサポートしていくことが求められている。今後新たに設置される市の障害者地域自立支援協議会の専門部会である就労支援部会においても、そうした就労支援に関する課題について、検討を行っていく予定である。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当である。 相談者個々の状況に応じた必要な支援が行える様、関係機関との連携強化等地域のネットワーク構築に努められたい。
---------------	---

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	経済課	事業番号	2-5
-----	-----	------	-----

基本方針	就労に向けた不安・悩みを解消するために	対象者	全対象者
主要課題	<b>就労相談</b> ●市障害者就労支援センターにおいて、就労に関する相談を実施することにより、就労に関する様々な不安や悩みを払拭し、障害者が就労につながるような支援を図っていきます。 ●各関係機関との連携を深め、東京都等において行われている就労相談業務の相談機会の情報提供を行い、就労に関する精神的なサポートを行っていきます		
事業名	的確な相談窓口への誘導	事業内容	就労困難者が就労に向けた支援が受けられるよう各相談窓口のPRをするとともに各関係機関との連携を図っていきます。

対象年度の実績	平成23年度から、庁内職員が求職者を的確な相談窓口へ誘導できるよう作成した「就労支援マップ」をリニューアルし、市民配布用として「就労支援ガイド」を2,500部作成し、求職者に配布することで、様々な相談窓口を案内した。(平成27年度約600部配布)			
---------	---	--	--	--

指標区分	設定した目標の内容	平成26年度(実績)	平成27年度(実績)	平成27年度(目標)
対象指標	—	—	—	—
活動指標	就労支援マップ作成部数	100部	2,500部 (配布部数約600部)	500部
成果指標	—	—	—	—

◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】 ◆選択した指標＝活動指標

■	□		□		□		□		
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった

所管課評価	高い ←-----→ 低い					理由				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	市をはじめ様々な就労関係機関が相談・サービス、支援制度などを実施している。これらの情報を一元的に提供する冊子として市民に提供することは様々な支援を必要としている求職者にとって有効性がある。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□	求職者が求めるサービス、支援制度等の情報を円滑に得ることができ、これらを有効に活用することは一定の雇用・就業効果がある。				
<b>所管課総合評価</b>	達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	A

専門部会評価	高い ←-----→ 低い					専門部会意見				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。 SNSによる情報提供はすぐにでも対応可能と思われるので年度内早々に対応願いたい。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□					
<b>専門部会総合評価</b>	達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	A

今後の進め方									
■	□		□		□		□		
拡大・拡充	現状維持		要改善		事業縮小		廃止・中止		
今後の課題・取組について	SNS等様々な媒体を活用し情報提供していく必要がある。								

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当と考えるが、指標の設定を以下の2点で次年度に向け再検討の必要がある。 ・活動指標の「就労支援マップ作成部数」は「就労支援マップ配布部数」とするのが適切である。 ・成果指標を新たに設定するのが適切である。
---------------	---



国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	生活福祉課	事業番号	2-6
-----	-------	------	-----

基本方針	就労に向けた不安・悩みを解消するために	対象者	生活保護法に基づく保護の被保護者及び要保護者
主要課題	<b>就労相談</b> ●市障害者就労支援センターにおいて、就労に関する相談を実施することにより、就労に関する様々な不安や悩みを払拭し、障害者が就労につながるような支援を図っていきます。 ●各関係機関との連携を深め、東京都等において行われている就労相談業務の相談機会の情報提供を行い、就労に関する精神的なサポートを行っていきます		
事業名	生活保護被保護者等就労促進事業	事業内容	生活保護法に基づく保護の被保護者及び要保護者を対象に、就労促進指導員が就労に関する相談に応じ、就労の指導を行うことや、公共職業安定所その他の機関と連携することにより、被保護者等の就労の促進を図っていきます。

対象年度の実績	就労相談延べ人数：396件 就職件数：61件（内訳：生活保護受給者60件、母子家庭1件、要保護者等0件）									
指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）						
対象指標	—	—	—	—						
活動指標	相談件数（延べ）	444件	396件	480件						
成果指標	就職件数	48件	61件	70件						
◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】			◆選択した指標＝成果指標							
□		□		■						
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった	
所管課評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					理由				
有効性・必要性（評価点×2）	□	■	□	□	□	相談者の状況に合わせて、就労指導や求人情報等の提供、ハローワークへの支援要請などを行っており、有効性は高い。				
雇用・就業効果（評価点×1）	□	■	□	□	□	就労支援員と就労促進指導員が、就労指導等を行い、就労に結びついている。				
所管課総合評価	達成状況	2	有効性	8	雇用・就業効果	4	総合評価点	14	総合評価	B

専門部会評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					専門部会意見				
有効性・必要性（評価点×2）	□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。就労支援員の嘱託職員化等に伴い支援の幅が広がっており、平成26年度実績を上回っている。引き続き目標達成に向けた支援をお願いしたい。				
雇用・就業効果（評価点×1）	□	■	□	□	□					
専門部会総合評価	達成状況	2	有効性	8	雇用・就業効果	4	総合評価点	14	総合評価	B

今後の進め方				
□	■		□	□
拡大・拡充	現状維持		要改善	事業縮小 廃止・中止
今後の課題・取組について	本人にあった求人情報の提供や履歴書添削等を行っても、なかなか採用に結びつかないケースがあるため、さまざまな手法で支援していく必要がある。また、就職しても就労自立につながる収入を得られない場合が多く、どのように増収していくかが課題である。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当である。
---------------	--------------

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	生活福祉課	事業番号	2-7
-----	-------	------	-----

基本方針	就労に向けた不安・悩みを解消するために	対象者	経済的に困窮し、就労意欲のある者
主要課題	<b>就労相談</b> ●市障害者就労支援センターにおいて、就労に関する相談を実施することにより、就労に関する様々な不安や悩みを払拭し、障害者が就労につながるような支援を図っていきます。 ●各関係機関との連携を深め、東京都等において行われている就労相談業務の相談機会の情報提供を行い、就労に関する精神的なサポートを行っていきます		
事業名	生活困窮者自立支援事業 (生活困窮者自立促進支援事業)	事業内容	生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立支援事業の実施、生活困窮者住居確保金の支給、その他の生活困窮者に対する自立の支援を講ずることにより、就労の促進を図っていきます。

対象年度の実績	国分寺市社会福祉協議会へ業務委託し「自立生活サポートセンターこくぶんじ」において、専門性を生かした相談支援事業が適切に実施され、相談件数、個別支援計画作成件数ともに増加している。 相談内容のうち就職に関する相談が最も多く、就労支援においては情報提供に加え、関係機関との連携や同行支援も行い、就労につながるケースもある。 ※下記「自立相談支援機関相談件数(延べ)」は、来所・訪問・電話・郵便・ファックス・メール・同行・他機関調整・カンファレンスの延べ件数。			
---------	---	--	--	--

指標区分	設定した目標の内容	平成26年度(実績)	平成27年度(実績)	平成27年度(目標)
対象指標	自立相談支援機関新規相談件数	107件	188件	100件
活動指標	自立相談支援機関相談件数(延べ)	1546件	3791件	600件
成果指標	個別計画作成数	18件	42件 (うち就労支援を含む計画26件)	30件

◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】 ◆選択した指標＝成果指標

■	□		□		□		□		
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった

所管課評価	高い ←-----→ 低い					理由				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性(評価点×2)	□	■	□	□	□	対象を生活困窮者に限定し、専門性を生かした相談支援事業は、就労の促進に有効である。また、生活困窮者自立支援法に基づく事業である。				
雇用・就業効果(評価点×1)	□	■	□	□	□	相談支援事業が就労につながるケースもあり、効果がある。				
<b>所管課総合評価</b>	達成状況	<b>5</b>	有効性	<b>8</b>	雇用・就業効果	<b>4</b>	総合評価点	<b>17</b>	総合評価	<b>A</b>

専門部会評価	高い ←-----→ 低い					専門部会意見				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性(評価点×2)	□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。				
雇用・就業効果(評価点×1)	□	■	□	□	□					
<b>専門部会総合評価</b>	達成状況	<b>5</b>	有効性	<b>8</b>	雇用・就業効果	<b>4</b>	総合評価点	<b>17</b>	総合評価	<b>A</b>

今後の進め方									
■	□		□		□		□		
拡大・拡充	現状維持		要改善		事業縮小		廃止・中止		
今後の課題・取組について	今年度より生活困窮者自立支援法に基づく事業となり、自立相談支援事業及び住居確保給付金支給事業が効率的に実施されている。子どもの学習支援事業については、対象者への事業の周知及び事業内容の充実を進め、より有効なものとしていく必要がある。また、庁内及び地域関係機関との連携により、対象者の早期把握と効果的な支援の実施を実現していく。就労準備支援事業等未実施の任意事業の必要性についても検討する必要がある。								

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当である。
---------------	--------------

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	経済課	事業番号	3-8
-----	-----	------	-----

基本方針	就労の場の確保と働きやすい環境をつくるために	対象者	全対象者
主要課題	<b>啓発活動</b> ●市や関係機関で実施している啓発活動に加え、市民や地域の事業者に対しては、働く環境の改善と就労意欲のより一層の向上に向けた啓発活動を行い、地域社会の理解を推進します。 ●商工団体との協力を図り、就労に関する啓発活動を進め、東京しごとセンター多摩等と連携し、広域的な連携ができるよう取り組みます。 ●中学生の職場体験や大学生のインターンシップを通して、将来の職業観への刺激や就業意欲を啓発します。		
事業名	就労支援情報の提供（再掲）	事業内容	国・都・企業等が提供している情報を収集・整理し、市ホームページや市報等により、市民に提供するとともに、庁内関係各課の窓口に就労情報等を備えていきます。また、市の担当部署、公共機関、就労関係機関との情報交換を進め、情報の共有化と内容の充実を図っていきます。

対象年度の実績	市ホームページのほか、毎月15日号市報に東京しごとセンター多摩の就労支援情報を掲載するとともに、引き続き各関係機関のチラシ等を第1庁舎1階、第3庁舎1階に対象年別別に整理し配架した。また、関係機関の相談窓口案内をまとめた「国分寺市就労支援ガイド」を2,500部作成し、庁内16箇所での配架や関係機関6箇所（東京しごとセンター多摩、商工会、障害者センター、社会福祉協議会、シルバー人材センター、たましん）での配架、イベントでの配布をし、窓口案内の周知を進めた。			
---------	---	--	--	--

指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）
対象指標	—	—	—	—
活動指標	就労支援情報の提供場所	4箇所	22箇所	充実
成果指標	—	—	—	—

◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】					◆選択した指標＝活動指標						
■		□			□			□		□	
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった		
所管課評価		高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					理由				
有効性・必要性 （評価点×2）		□	■	□	□	□	東京しごとセンターや、東京都労働相談情報センターが市内にあり、当該機関が実施するセミナー等は、市内で開催されるものも多く、市報やチラシ等により随時市民へ提供する必要性は高い。				
雇用・就業効果 （評価点×1）		□	□	■	□	□	就労支援セミナー、就職面接会は対象別に開催されており、求職者と雇用事業者とマッチングさせるうえで効果的であり、その情報提供することは就業効果として、一定の効果があると考えます。				
所管課総合評価		達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	A

専門部会評価		高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					専門部会意見				
有効性・必要性 （評価点×2）		□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。				
雇用・就業効果 （評価点×1）		□	□	■	□	□					
専門部会総合評価		達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	A

今後の進め方				
□	■	□	□	□
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	就労支援ガイドを活用し、関係機関窓口を引き続き周知するとともに、各機関のチラシ等の情報を配架する場所をその他の場所に拡大するなど、情報を目にする場所を拡大することが引き続き課題。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当と考えるが、成果指標は評価の判断材料として重要である。成果指標の設定について次年度に向けて検討が必要。
---------------	---

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	学校指導課	事業番号	3-9
-----	-------	------	-----

基本方針	就労の場の確保と働きやすい環境をつくるために		対象者	中学生
主要課題	<b>啓発活動</b> ●市や関係機関で実施している啓発活動に加え、市民や地域の事業者に対しては、働く環境の改善と就労意欲のより一層の向上に向けた啓発活動を行い、地域社会の理解を推進します。 ●商工団体との協力を図り、就労に関する啓発活動を進め、東京しごとセンター多摩等と連携し、広域的な連携ができるよう取り組みます。 ●中学生の職場体験や大学生のインターンシップを通して、将来の職業観への刺激や就業意欲を啓発します。			
事業名	中学生の職場体験	事業内容	将来の職業観・勤労観の醸成や就労への意欲を高めていくため、継続して中学生の職場体験を実施していきます。市内の事業所には、将来社会人となる中学生等が職場体験をすることの重要性について、啓発活動を行いながらご協力をいただき、職場体験先としての受け皿づくりを進めていきます。	

対象年度の実績	中学生職場体験（3日）を実施した。 753人（5校） 受入れ先は保育園、児童館、子ども家庭支援センター、公民館、図書館、小学校、ふるさと文化財課、その他市内及び近隣市事業所。									
指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）						
対象指標	職場体験日数	3日	3日	3日						
活動指標	職場体験日数	3日	3日	3日						
成果指標	参加人数	728人	753人	1学年または2学年生徒全員						
◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】			◆選択した指標＝成果指標							
□		■		□						
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった	
所管課評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					理由				
有効性・必要性 （評価点×2）	□	■	□	□	□	職場を実体験することで、将来の職業観の醸成と就業意欲を啓発する。				
雇用・就業効果 （評価点×1）	□	□	■	□	□	職場を実体験することで、将来の職業観の醸成と就業意欲を啓発する。				
所管課総合評価	達成状況	4	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	15	総合評価	B

専門部会評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					専門部会意見				
有効性・必要性 （評価点×2）	□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。				
雇用・就業効果 （評価点×1）	□	□	■	□	□					
専門部会総合評価	達成状況	4	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	15	総合評価	B

今後の進め方				
□	■		□	□
拡大・拡充	現状維持		要改善	事業縮小
今後の課題・取組について	毎年度のことはあるが、希望する職種と生徒数に見合うだけの受入れ先を確保することに苦慮しているため、27年度においては、各学校より事業所へ個別に依頼しているほか、市報やホームページ・庁内の掲示板等に掲示し、受入れや協力をお願いをし、新規の受入れ先を確保するため、「就労支援地域連絡会」に、受入れ協力の依頼文書を経済課を通じ、配布をお願いした。平成28年度以降も継続して行っていく。生徒の職場体験に対する意欲向上のために生徒が希望する職種の事業所を確保するとともに、事前指導の充実を図っていくことにより、多くの職場に安心して受け入れてもらえるよう取り組んでいく必要がある。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当である。 受入れ先の拡大の指標として、対象指標を「受け入れ箇所数」とすることが可能か検討が必要。
---------------	---

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	職員課	事業番号	3-10
-----	-----	------	------

基本方針	就労の場の確保と働きやすい環境をつくるために	対象者	大学生
主要課題	<b>啓発活動</b> ●市や関係機関で実施している啓発活動に加え、市民や地域の事業者に対しては、働く環境の改善と就労意欲のより一層の向上に向けた啓発活動を行い、地域社会の理解を推進します。 ●商工団体との協力を図り、就労に関する啓発活動を進め、東京しごとセンター多摩等と連携し、広域的な連携ができるよう取り組みます。 ●中学生の職場体験や大学生のインターンシップを通して、将来の職業観への刺激や就業意欲を啓発します。		
事業名	インターンシップ制度の活用 (学生就業体験事業)	事業内容	将来の職業観・勤労観の醸成や就労への意欲を高めていくため、継続して学生のインターンシップ受け入れを実施していきます。

対象年度の実績	5校の大学より17名の学生をインターンシップ実習生として受け入れた。 受入大学内訳：東京経済大学10名、明星大学3名、中央大学2名、明治大学1名、首都大学東京1名 受入部署：職員課、防災安全課、協働コミュニティ課、スポーツ振興課、子育て相談室、環境計画課、ごみ減量推進課、緑と建築課、国分寺駅周辺整備課、学校指導課、図書館課、公民館課			
指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）
対象指標	—	11部署	10部署	—
活動指標	インターンシップ受入れ人数	13名	17名	20名
成果指標	インターンシップ受入れ人数	13名	17名	20名
◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】		◆選択した指標＝成果指標		
□		□		■
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B
		B		おむね達成した
		C		目標に達しなかった
		D		取組を行わなかった
所管課評価	高い ←-----→ 低い	理由		
	5 4 3 2 1			
有効性・必要性 (評価点×2)	□ ■ □ □ □	自治体での就業経験を通じて、学生が市民および地域社会に貢献する意義について意識を一定程度深めることができた。		
雇用・就業効果 (評価点×1)	□ ■ □ □ □	インターンシップ実習生として現場で働くことによって、学生の職業観がより現実的になる効果を得ることができた。また、近年では市役所でのインターンシップを契機に業務に対する理解が深まり、地方公務員を志望する学生も増加している。		
所管課総合評価	達成状況	2	有効性	8
			雇用・就業効果	4
			総合評価点	14
			総合評価	B

専門部会評価	高い ←-----→ 低い	専門部会意見		
	5 4 3 2 1			
有効性・必要性 (評価点×2)	□ ■ □ □ □	所管課評価のとおりとする。		
雇用・就業効果 (評価点×1)	□ ■ □ □ □			
専門部会総合評価	達成状況	2	有効性	8
			雇用・就業効果	4
			総合評価点	14
			総合評価	B

今後の進め方				
□	□	■	□	□
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	平成26年度と比しては実績数が増加したものの、平成27年度目標に達することができなかった。都内各大学よりインターンシップ受入の依頼は年々増加しているが、分散庁舎や受入れスペース不足、会議室不足等ハード面により受け入れ可能部署の減少や大学・学生の希望とのミスマッチにより、実績に結び付いていない状況である。 ハード面での解消には年月を要するが、庁議での各所属への周知や一人に対する受入れ部署を複数に設定するなどソフト面での改善を図りたい。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当である。
---------------	--------------

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	障害福祉課 (旧障害者相談室)	事業番号	4-11
-----	--------------------	------	------

基本方針	就労場の確保と働きやすい環境をつくるために	対象者	障害者
主要課題	<b>雇用機会の創出</b> ●市が率先して就労困難者を雇用する取り組みを進めます。 ●就労困難者の就労支援に資する関係団体等を支援することにより、雇用機会の拡充を図ります。		
事業名	障害者団体への就労機会の拡大	事業内容	「国分寺市障害者就労支援施設等からの物品等の調達の推進を図るための方針」に基づき、障害者就労施設等からの優先的な物品、役務等の調達の推進を図っていきます。

対象年度の実績	●就労の場としての公共施設の場の提供 10施設 ●障害者団体への業務委託件数 65件 ●障害者就労施設等からの物品等の調達実績金額 40,610,089円			
---------	---	--	--	--

指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）
対象指標	—	—	—	—
活動指標	—	—	—	—
成果指標	物品等調達実績金額	28,358,279円 (平成25年度 32,677,811件)	40,610,089円	調達方針による前々年度の実績金額を上回る様努める。

◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】

■		□		□		□		□	
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった

所管課評価	←-----→					理由				
	高い	5	4	3	2		1	低い		
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	庁内清掃等の委託や物品販売の場の提供は、雇用機会創出に寄与している。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	■	□	□	□	清掃業務の委託等は直接的な雇用につながっており、雇用の効果が大きい。				
所管課総合評価	達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	4	総合評価点	17	総合評価	A

専門部会評価	←-----→					専門部会意見				
	高い	5	4	3	2		1	低い		
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。 引き続き推進に努められたい。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	■	□	□	□					
専門部会総合評価	達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	4	総合評価点	17	総合評価	A

今後の進め方				
□	■	□	□	□
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	庁内における各課の事業内容等の変更により、調達実績金額に変動がみられるが、庁内清掃や公園清掃業務等安定した雇用につながっている調達内容もみられ、引き続き推進を図っていく。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当である。
---------------	--------------

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	地域福祉課	事業番号	4-12
-----	-------	------	------

基本方針	就労の場の確保と働きやすい環境をつくるために	対象者	高齢者
主要課題	<b>雇用機会の創出</b> ●市が率先して就労困難者を雇用する取り組みを進めます。 ●就労困難者の就労支援に資する関係団体等を支援することにより、雇用機会の拡充を図ります。		
事業名	高齢者への雇用機会の拡大	事業内容	高齢者の就労機会の提供・確保に重要な役割を果たしているシルバー人材センターへの財政的支援を継続するとともに、シルバー人材センターへの業務委託の推進を図ります。これらにより高齢者の技術・経験を生かした地域活動への参加を促進させます。

対象年度の実績	シルバー人材センターの運営費への補助金交付、作業所の提供、就業相談及び事業活動周知のための市報への掲載並びに受託事業拡大のため庁内イントラへの掲示などを行うことにより、シルバー人材センター事業の推進を図った。									
指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）						
対象指標	シルバー人材センターの会員数	737人	744人	825人						
活動指標	シルバー人材センターの業務委託数	6,121件	6,154件	5,760件						
成果指標	シルバー人材センターの就業率	82.70%	82.90%	75.5%						
◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】			◆選択した指標＝成果指標							
□		■		□						
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった	
所管課評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					理由				
有効性・必要性 （評価点×2）	□	■	□	□	□	一億総活躍社会を目指す我が国において、高齢者の雇用創出を図っているシルバー人材センター事業の推進は重要性が高い。				
雇用・就業効果 （評価点×1）	□	■	□	□	□	高齢者に対し、地域に密着した仕事を提供しており、高齢者の雇用創出に大きな役割を担っている。				
所管課総合評価	達成状況	4	有効性	8	雇用・就業効果	4	総合評価点	16	総合評価	A

専門部会評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					専門部会意見				
有効性・必要性 （評価点×2）	□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。				
雇用・就業効果 （評価点×1）	□	■	□	□	□					
専門部会総合評価	達成状況	4	有効性	8	雇用・就業効果	4	総合評価点	16	総合評価	A

今後の進め方				
□	■		□	□
拡大・拡充	現状維持		要改善	事業縮小
今後の課題・取組について	・市においては、引き続き、シルバー人材センターの運営費への補助金交付、作業所の提供、就業相談及び事業活動周知のための市報への掲載並びに受託事業拡大のため庁内イントラへの掲示を実施していく。 ・平成28年度から一般派遣事業に着手しており、これまで請負で対応しきれなかった就業機会にも対応することにより、就業率や会員数の拡大に努めていく必要がある。 ・シルバー人材センターによる事業のPR活動及び民間事業所への訪問活動等により、引き続き、就業機会の確保に取り組んでいく必要がある。			

就労支援推進委員会の意見等	平成26年度と平成27年度との間に取組内容、実績数値に大きな変化がないことから、平成26年度と同様のB評価が妥当と考える。
---------------	---

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	職員課	事業番号	4-13
-----	-----	------	------

基本方針	就労の場の確保と働きやすい環境をつくるために	対象者	障害者
主要課題	<b>雇用機会の創出</b> ●市が率先して就労困難者を雇用する取り組みを進めます。 ●就労困難者の就労支援に資する関係団体等を支援することにより、雇用機会の拡充を図ります。		
事業名	市役所での障害者の雇用の推進	事業内容	障害者雇用率を遵守し、障害者の計画的な雇用を図っていきます。 障害者雇用推進のために、市が率先して障害者の雇用・就労の機会確保の検討を進めていきます。

対象年度の実績	法定雇用率2.34% 平成27年度において、基準法定雇用率（2.3%）を上回る実績を確保することができた。									
指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）						
対象指標	—	—	—	—						
活動指標	—	—	—	—						
成果指標	法定雇用率	2.38%	2.34%	2.3%以上						
◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】			◆選択した指標＝成果指標							
□		■		□						
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった	
所管課評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					理由				
有効性・必要性 (評価点×2)	■	□	□	□	□	障害者雇用促進法が改正されたこともあり、地方公共団体として、障害者法定雇用率の達成は必須の課題である。また、他職員の障害に対する理解を深めていく観点からも、本事業の必要性・有効性は高いと判断する。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	■	□	□	□	障害者を対象とした採用試験を実施し適宜増員を図るとともに、定着のためのフォローを行う等、雇用の拡大に向けて施策を講じており、実際に一定程度の効果が出ていると考える。				
所管課総合評価	達成状況	4	有効性	10	雇用・就業効果	4	総合評価点	18	総合評価	A

専門部会評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					専門部会意見				
有効性・必要性 (評価点×2)	■	□	□	□	□	所管課評価のとおりとする。 努力されているが、今後の拡充の努力をお願いしたい。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	■	□	□	□					
専門部会総合評価	達成状況	4	有効性	10	雇用・就業効果	4	総合評価点	18	総合評価	A

今後の進め方				
■	□	□	□	□
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	【課題】 ・法定雇用率については達成することはできたが、庁内施設等の都合から、障害者を配属できる部署に限られてしまっている。 ・在職中の障害者の面談等により、職務への適応状況を把握し、適切なフォローを行い、定着を図る。 【今後の取組】 ・採用試験の実施、配置職場の拡大等により、法定雇用率を確保し、障害者雇用の拡大に努める。 ・知的障害者・精神障害者の採用を検討する。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当である。 さらなる障害者雇用の拡大に向け取組の拡充に努められたい。
---------------	--



国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	契約管財課	事業番号	4-14
-----	-------	------	------

基本方針	就労の場の確保と働きやすい環境をつくるために		対象者	市民・事業者
主要課題	<b>雇用機会の創出</b> ●市が率先して就労困難者を雇用する取り組みを進めます。 ●就労困難者の就労支援に資する関係団体等を支援することにより、雇用機会の拡充を図ります。			
事業名	市の調達における雇用の促進	事業内容	平成24年6月に就労困難者の雇用状況を業者選定に反映させる仕組みの一方策である公共調達条例を制定。公共調達条例で規定する総合評価方式の要綱を制定し、価格のみによらない競争を実施し、就労困難者の雇用状況を業者選定に反映させることを目指します。当該要綱を円滑に運用することによって、就労困難者の雇用促進につなげていきます。	

対象年度の実績	公共調達条例に基づく「国分寺市工事請負契約に係る総合評価競争入札実施に関する要綱」を適正に運用した。(総合評価方式対象案件 6件)			
---------	---	--	--	--

指標区分	設定した目標の内容	平成26年度(実績)	平成27年度(実績)	平成27年度(目標)
対象指標	—	—	—	—
活動指標	—	—	—	—
成果指標	総合評価方式競争入札実施要綱の運用	総合評価方式競争入札の運用	総合評価方式競争入札の運用	総合評価方式競争入札の運用

◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】

□		■		□		□		□	
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった

所管課評価	高い ←-----→ 低い					理由				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	公共調達条例に基づき制定した「国分寺市工事請負契約に係る総合評価競争入札実施に関する要綱」を適正に運用した。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□	総合評価方式に係る要綱を運用することで、事業者の就労困難者の雇用促進に一定の効果をもたらすことができると考えるが、雇用の可否はあくまでも事業者の任意の意思によるものであるため、劇的な効果が期待できるというものではないと考えるため、左記評価とした。				
<b>所管課総合評価</b>	達成状況	<b>4</b>	有効性	<b>8</b>	雇用・就業効果	<b>3</b>	総合評価点	<b>15</b>	総合評価	<b>B</b>

専門部会評価	高い ←-----→ 低い					専門部会意見				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	所管課の評価のとおりとする。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□					
<b>専門部会総合評価</b>	達成状況	<b>4</b>	有効性	<b>8</b>	雇用・就業効果		<b>3</b>	総合評価点	<b>15</b>	総合評価

今後の進め方				
□	■	□	□	□
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	上記要綱に基づき、当該競争入札の実施を適正に運用していくことが、必要である。			

就労支援推進委員会の意見等	「国分寺市工事請負契約に係る総合評価競争入札実施に関する要綱」をすでに制定しており、これに従い適正に運用をしていく段階であることから、この事業の進行管理は終了とすることが妥当である。
---------------	---

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	経済課	事業番号	4-15
-----	-----	------	------

基本方針	就労の場の確保と働きやすい環境をつくるために	対象者	全対象者
主要課題	<b>雇用機会の創出</b> ●市が率先して就労困難者を雇用する取り組みを進めます。 ●就労困難者の就労支援に資する関係団体等を支援することにより、雇用機会の拡充を図ります。		
事業名	補助金事業による雇用創出	事業内容	国及び都で創設された補助金制度（東京都人づくり・人材確保支援事業等）を活用し、就労困難者等の雇用機会を創出します。

対象年度の実績	平成27年度は関係各課に補助金等制度の情報提供したが、活用実績なし。 (新規事業を対象としており、東京都の事業周知が年度開始直前となったことから、関係各課において事業計画・実施が困難であった)									
指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）						
対象指標	—	—	—	—						
活動指標	—	—	—	—						
成果指標	実施事業数	1事業	事業なし	1事業						
◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】			◆選択した指標＝成果指標							
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>						
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B						
		C		D						
		D		取組を行わなかった						
所管課評価	理由									
	高い	←-----→			低い					
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 (評価点×2)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
雇用・就業効果 (評価点×1)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
10/10補助である東京都人づくり人材確保支援事業等を活用し、就労困難者を支援する事業を実施することは、就労支援の面からだけでなく市財政負担の面からも有効性は高い。										
補助金活用実績がないため雇用就業効果は1とする。										
所管課総合評価	達成状況	2	有効性	8	雇用・就業効果	1	総合評価点	11	総合評価	B

専門部会評価	理由									
	高い	←-----→			低い					
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 (評価点×2)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
雇用・就業効果 (評価点×1)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
所管課の評価のとおり。事業実施が行われるよう、有効な庁内周知を図りたい。										
専門部会総合評価	達成状況	2	有効性	8	雇用・就業効果	1	総合評価点	11	総合評価	B

今後の進め方				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	関係各課における補助金を活用した事業実施が実施されるよう、関係各課に対する情報提供方法に工夫が必要。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当である。 高齢者、障害者など年度ごとに分野を絞って関係各課と調整するなど、事業実施に向けた情報提供・調整が必要。
---------------	---

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	子ども若者計画課 (旧保育課)	事業番号	4-16
-----	--------------------	------	------

基本方針	就労の場の確保と働きやすい環境をつくるために	対象者	子育て中の女性及びひとり親家庭の保護者
主要課題	<b>雇用機会の創出</b> ●市が率先して就労困難者を雇用する取り組みを進めます。 ●就労困難者の就労支援に資する関係団体等を支援することにより、雇用機会の拡充を図ります。		
事業名	保育所の拡充による待機児童解消	事業内容	子どもを預けることのできる保育所等を整備し、待機児童を解消することにより、働く意欲のある子育て中の女性やひとり親家庭の保護者が就業しやすい環境づくりを進めます。

対象年度の実績	平成26年4月に認可保育所1施設(定員100名)整備、ひかり保育園定員17名拡大、平成27年4月に認可保育所1施設(定員80名)を整備した。			
---------	--	--	--	--

指標区分	設定した目標の内容	平成26年度(実績)	平成27年度(実績)	平成27年度(目標)
対象指標	—	—	—	—
活動指標	保育施設数	30	32	33施設
成果指標	保育施設定員数	2,279人	2,349人	2,359人

◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】					◆選択した指標＝成果指標					
□		■			□		□		□	
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった	
所管課評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					理由				
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	保育施設を整備することにより、女性の働きやすい環境を整備することができ、認可保育所利用率が向上している。(認可保育所利用率(0~5歳児童平均)25年度31.8%、26年度34.8%、27年度38.3%)				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□	計画的に保育所を整備しており女性の就業しやすい環境づくりに寄与しているが、保育施設の待機児童が増加している。(待機児童数25年度53人、26年度77人、27年度88人)				
所管課総合評価	達成状況	4	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	15	総合評価	B

専門部会評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					専門部会意見				
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□					
専門部会総合評価	達成状況	4	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	15	総合評価	B

今後の進め方				
■	□	□	□	□
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	平成23年9月に策定した「保育サービスの整備・運営及び提供体制に関する全体計画」に基づき、計画的に認可保育所の整備を進めてきたが、女性の社会進出等により年々待機児童数が増加している。平成27年3月に策定した「国分寺市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、29年度待機児童数0を目指し、今後も保育所を整備していく必要がある。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当である。
---------------	--------------

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	生活福祉課	事業番号	5-17
-----	-------	------	------

基本方針	就労の場の確保と働きやすい環境をつくるために	対象者	女性
主要課題	<b>能力開発・訓練</b> ●能力開発に取り組む女性や障害者の方を対象とした制度を活用して、就労支援を進めます。 ●関係機関・団体と連携して多様な就労支援セミナーを開催します。 ●市役所を就労に向けた訓練の場として積極的に活用します。		
事業名	母子家庭自立支援教育・給付金事業	事業内容	能力開発に取り組む母子家庭の母を対象に、母子家庭自立支援教育・給付金事業の制度の周知を行い、この制度を積極的に活用してもらうよう進めていきます。この制度を活用することにより、母子家庭保護者の能力開発や職業訓練が進められ、就労に役立てることにあります。

対象年度の実績	自立支援教育訓練給付金支給：0人 母子家庭高等技能訓練促進費支給：2人 就職者数：1人			
指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）
対象指標	支給件数	5名	2名	7名
活動指標	支給件数	5名	2名	7名
成果指標	就職者数	1名	1名	3名
◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】			◆選択した指標＝活動指標	
□		□		■
S 目標を大幅に上回った	A 目標どおり達成した	B おおむね達成した	C 目標に達しなかった	D 取組を行わなかった
所管課評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1			
有効性・必要性 （評価点×2）	□	■	□	□
雇用・就業効果 （評価点×1）	□	■	□	□
理由	給付金の支給により、就職に有利な資格等の取得を促進し、母子世帯の経済的自立を図る必要がある。			
理由	取得した資格を活かした職を得て経済的自立につながっているため、効果は高い。			
所管課総合評価	達成状況	2	有効性	8
	雇用・就業効果	4	総合評価点	14
	総合評価	B		

専門部会評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1			
有効性・必要性 （評価点×2）	□	■	□	□
雇用・就業効果 （評価点×1）	□	□	■	□
理由	国の制度が拡充されて支給対象が2年から3年に拡充されたり、通信教育も可能になったなど一定利用者増が見込まれるところだが、平成27年度は利用実績も少ないことから、雇用就業効果は3とする。利用者増に向けさらなる周知を進めていただきたい。			
専門部会総合評価	達成状況	2	有効性	8
	雇用・就業効果	3	総合評価点	13
	総合評価	B		

今後の進め方				
■	□	□	□	□
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	ひとり親世帯では、資格がなく、収入の低い仕事にしかつけない親も多い。給付金を受けながら技能取得のための勉強をし、就職に有利な資格を取得することは、世帯の経済的自立につながる。利用者の増加を図るための事業周知に努めるとともに、対象資格等の拡大を検討する。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当である。国の制度拡充もあることから、利用者増に向けてさらなる周知を進められたい。
---------------	--

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	経済課	事業番号	5-18
-----	-----	------	------

基本方針	就労の場の確保と働きやすい環境をつくるために	対象者	市民・事業者
主要課題	<b>能力開発・訓練</b> ●能力開発に取り組む女性や障害者の方を対象とした制度を活用して、就労支援を進めます。 ●関係機関・団体と連携して多様な就労支援セミナーを開催します。 ●市役所を就労に向けた訓練の場として積極的に活用します。		
事業名	就労支援セミナーの実施	事業内容	関係機関・団体と連携して、共催による多様な就労支援セミナーを実施していきます。

対象年度の実績	東京しごとセンター多摩、東京都労働相談情報センター、ハローワーク立川、国分寺市社会福祉協議会との共催によりセミナー等を9回及び文化と人権課と連携して女性向け創業セミナーを1回開催した。			
---------	--	--	--	--

指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）
対象指標	共催セミナー等の開催数	6回	10回	10回
活動指標	共催セミナー等の開催数	6回	10回	10回
成果指標	延べ参加人数	392名	580名	800名

◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】	◆選択した指標＝成果指標			
--	--------------	--	--	--

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
S 目標を大幅に上回った	A 目標どおり達成した	B おおむね達成した	C 目標に達しなかった	D 取組を行わなかった

所管課評価	高い ←-----→ 低い					理由				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 （評価点×2）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	就労支援専門機関と連携し、就労困難者に対するセミナー・就職面接会等の支援を行うことは就労支援事業として有効性は高い。				
雇用・就業効果 （評価点×1）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各就労支援セミナーや就職面接会への参加人数は定員に達しているものも多く、好評を得ている。求職者に対する就労支援としては一定の効果がある。				
<b>所管課総合評価</b>	達成状況	<b>2</b>	有効性	<b>8</b>	雇用・就業効果	<b>3</b>	総合評価点	<b>13</b>	総合評価	<b>B</b>

専門部会評価	高い ←-----→ 低い					専門部会意見				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 （評価点×2）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	所管課評価のとおりとする。				
雇用・就業効果 （評価点×1）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
<b>専門部会総合評価</b>	達成状況	<b>2</b>	有効性	<b>8</b>	雇用・就業効果	<b>3</b>	総合評価点	<b>13</b>	総合評価	<b>B</b>

今後の進め方				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	引き続き、関係機関が行うセミナーについて積極的な共催（広報・会場の提供）を持ちかけるなど情報提供、回数増の要望を行う。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当である。
---------------	--------------

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	文化と人権課	事業番号	5-19
-----	--------	------	------

基本方針	就労場の確保と働きやすい環境をつくるために	対象者	女性
主要課題	<b>能力開発・訓練</b> ●能力開発に取り組む女性や障害者の方を対象とした制度を活用して、就労支援を進めます。 ●関係機関・団体と連携して多様な就労支援セミナーを開催します。 ●市役所を就労に向けた訓練の場として積極的に活用します。		
事業名	女性のための就労支援セミナーの実施	事業内容	結婚や出産、育児等の理由で離職した女性が、就労プランクや家事・育児との両立など、就労に対して感じる不安を軽減するための再就職や起業を支援する講座を実施していきます。

対象年度の実績	「プチ起業 はじめの一歩！自分らしい働き方をめざして」10月20日実施 「起業にチャレンジ！～自分らしく働こう～」2月25日実施 10月の講座では何か仕事を始めたいけれど何をしたらいいのかと悩んでいる方を主な対象に、実際に起業している講師から自分らしい働き方の一つとして起業にいたるまでの話をしていただいた。2月の講座では起業支援を専門としている税理士を講師に招き、起業についての具体的な手順や資金調達の方法、女性起業家の成功事例などの話をしていただき、経済課及び多摩信用金庫と連携し創業支援に関する説明も行った。			
---------	---	--	--	--

指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）
対象指標	—	—	—	—
活動指標	講座の開催回数	15回 (1期5回の連続講座を3期実施)	2回	1回
成果指標	講座の参加者数	31人	55人	15人

◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】					◆選択した指標＝成果指標						
■		□			□			□		□	
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった		

所管課評価	高い ←-----→ 低い					理由				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	女性の就労を支援することは、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」でも自治体に求められており、必要性は高い。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□	事業内容に沿った講座を実施したため。				
所管課総合評価	達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	A

専門部会評価	高い ←-----→ 低い					専門部会意見				
	5	4	3	2	1					
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□					
専門部会総合評価	達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	A

今後の進め方				
□	■	□	□	□
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	引き続き、女性の就労支援としての講座などを実施していく。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当である。
---------------	--------------

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	障害福祉課 (旧障害者相談室)	事業番号	5-20
-----	--------------------	------	------

基本方針	就労場の確保と働きやすい環境をつくるために	対象者	障害者
主要課題	<b>能力開発・訓練</b> ●能力開発に取り組む女性や障害者の方を対象とした制度を活用して、就労支援を進めます。 ●関係機関・団体と連携して多様な就労支援セミナーを開催します。 ●市役所を就労に向けた訓練の場として積極的に活用します。		
事業名	庁内実習体験事業	事業内容	市障害者就労支援センターが実施する「訓練の場」として、市役所の業務のうち一部の仕事を実習の場として提供し、就労を目的とした実習訓練を行います。これにより、障害者の就労への第一歩につなげていきます。

対象年度の実績	[第1回]11月6日(子ども若者計画課)成人式案内はがきの宛名シール貼り。(1名) [第2回]2月18日~19日(光図書館)閉架図書のICタグ貼り。(1名) [第3回]2月29日3月1日・3日(環境計画課)封入作業(4名) ※実習で行う作業内容や実習期間と就労支援センターの登録者の状況や日程等が合わず、例年より参加者が少なかった。 ※第3回は、参加者のスキルが高く、予定日数(4日)のところ、2日半で終了となった。			
---------	--	--	--	--

指標区分	設定した目標の内容	平成26年度(実績)	平成27年度(実績)	平成27年度(目標)
対象指標	実習回数	3回	3回	3回
活動指標	実習回数	3回	3回	3回
成果指標	実習参加人数	12名	6名	11人

◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】					◆選択した指標= 成果指標					
□		□		□		■		□		
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった	
所管課評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					理由				
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	職場マナーや指示の受け方等を学ぶとともに、緊張感や作業を成し遂げた達成感を体験する場となっている。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□	就労支援センターで、実習終了後にふり返りや評価を実施し、企業実習前のステップの場となっており、就職活動にあたっての課題を考える機会にもつながっている。				
所管課総合評価	達成状況	2	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	13	総合評価	B

専門部会評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					専門部会意見				
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。事業の有効性があるので、他の部署にも拡大していけるよう全庁的に周知願いたい。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□					
専門部会総合評価	達成状況	2	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	13	総合評価	B

今後の進め方				
□	■	□	□	□
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	過去の追跡調査により、実習生の多くが一般就労に結びついていることが明らかになり、市の庁内実習体験事業が一定の効果を上げている。今後も企業実習前の一般就労に向けた初期の準備として事業を継続していく。参加者の障害の特性や能力に合った実習訓練が可能となるよう、庁内の関係各課と連携を図りながら、実習で行う作業内容や期間等を調整し、実習プログラムを組んでいきたい。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当である。
---------------	--------------

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	経済課	事業番号	6-21
-----	-----	------	------

基本方針	地域で就労支援をすすめるために	対象者	
主要課題	<b>推進体制・地域連携</b> ●市が率先して就労困難者に雇用や訓練の場を提供し事業を進めるために庁内組織を設置します。 ●障害者の就労支援を進めるために地域連携組織を設置します。 ●就労支援関係機関との連携を推進します。		
事業名	国分寺市就労支援プラン連絡専門部会	事業内容	庁内関係部署間の情報交換や調整を図り、就労支援策の効率的・効果的な推進を図るため、国分寺市就労支援プラン連絡専門部会を開催します。これにより、庁内関係部署による情報の共有化、就労困難者支援の迅速な対応を図ります。

対象年度の実績	就労支援プラン連絡専門部会を3回開催し、国分寺市就労支援方針実施計画に基づく就労支援事業の進行管理を行った。									
指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）						
対象指標	連絡専門部会の開催	8回	3回	2回						
活動指標	連絡専門部会の開催	8回	3回	2回						
成果指標	—	—	—	—						
◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】			◆選択した指標＝活動指標							
■		□		□						
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった	
所管課評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					理由				
有効性・必要性 （評価点×2）	□	■	□	□	□	就労支援プラン計画事業を推進していくのに当たり、庁内関係部署間の就労支援に関する情報の共有化、同計画の見直し作業等を行う連絡会であり、プランを推進していく上で必要な組織である。				
雇用・就業効果 （評価点×1）	□	□	■	□	□	庁内の連絡会を開催し、就労支援プラン計画事業の進行管理を行うことで、事業の推進を図ることができる。				
所管課総合評価	達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	A

専門部会評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					専門部会意見				
有効性・必要性 （評価点×2）	□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。				
雇用・就業効果 （評価点×1）	□	□	■	□	□					
専門部会総合評価	達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	A

今後の進め方				
□	■	□	□	□
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	引き続き就労支援事業推進のため、「国分寺市就労支援プラン連絡専門部会」を開催し、進行管理を行って行く。			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当と考えるが、成果指標は評価の判断材料として重要である。成果指標の設定について次年度に向けて検討が必要。
---------------	---



国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	障害福祉課 (旧障害者相談室)	事業番号	6-22
-----	--------------------	------	------

基本方針	地域で就労支援をすすめるために		対象者	
主要課題	<b>推進体制・地域連携</b> ●市が率先して就労困難者に雇用や訓練の場を提供し事業を進めるために庁内組織を設置します。 ●障害者の就労支援を進めるために地域連携組織を設置します。 ●就労支援関係機関との連携を推進します。			
事業名	障害者就労支援連絡会	事業内容	障害者の就労支援を推進するため、地域連携組織を設置し、障害者の就労支援関係機関と連携した取り組みを行っていきます。	

対象年度の実績	連絡会の委員構成等を検討し、就労支援の実態について障害者の就労の場・機会の現状を把握していく必要があるため、3回連絡会を開催し、情報交換、課題整理等を行い、平成27年度の連絡会のあり方について検討した。									
指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）						
対象指標	就労支援連絡会開催	2回	3回	2回						
活動指標	就労支援連絡会開催	2回	3回	2回						
成果指標	—	—	—	—						
◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】			◆選択した指標＝活動指標							
■		□		□						
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった	
所管課評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					理由				
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	連絡会設置要領に国分寺市内及び国分寺市役所内における就労訓練の場並びに就労の場の確保及び国分寺市が障害福祉サービス事業者等と締結する委託契約等に関する事項について協議、調整を行うことが位置づけられており必要性はある。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□	連絡会の委員構成等について検討し、外部の関係団体と連携を図り、連絡会が機能することによって、就労の場の創出につながるが期待できる。				
所管課総合評価	達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	A

専門部会評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					専門部会意見				
有効性・必要性 (評価点×2)	□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。地域自立支援協議会の部会化を予定しているとのことだが、引き続き拡大拡充を図っていただきたい。				
雇用・就業効果 (評価点×1)	□	□	■	□	□					
専門部会総合評価	達成状況	5	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	16	総合評価	A

今後の進め方								
■	□		□		□		□	
拡大・拡充	現状維持		要改善		事業縮小		廃止・中止	
今後の課題・取組について	連絡会の役割及び委員構成等について、他の類いの会議との関係をよく整理しながら、引き続き検討していく必要がある。							

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当と考えるが、成果指標は評価の判断材料として重要である。成果指標の設定について次年度に向けて検討が必要。
---------------	---

国分寺市就労支援プラン  
就労支援事業進行管理票 [対象：27年度]

所管課	経済課	事業番号	6-23
-----	-----	------	------

基本方針	地域で就労支援をすすめるために		対象者	
主要課題	<b>推進体制・地域連携</b> ●市が率先して就労困難者に雇用や訓練の場を提供し事業を進めるために庁内組織を設置します。 ●障害者の就労支援を進めるために地域連携組織を設置します。 ●就労支援関係機関との連携を推進します。			
事業名	就労支援のための関係機関との連携	事業内容	地域雇用創出に向けた情報交換、就労支援事業を進めるため、国分寺市就労支援地域連絡会を開催します。地域連絡会では、関係機関・団体との意見・情報交換、連携のほか、地域雇用の創出を目的とした事業について検討を進めていきます。	

対象年度の実績	地域雇用創出に向けた情報交換、就労支援事業を進めるため、国分寺市就労支援地域連絡会を2回開催した。平成27年度は新たに国分寺市シルバー人材センターに委員として参加していただき、「国分寺市就労支援ガイド」の作成等についての検討や、情報交換を行った。									
指標区分	設定した目標の内容	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成27年度（目標）						
対象指標	—	—	—	—						
活動指標	就労支援地域連絡会開催回数	1回	2回	2回						
成果指標	就労支援地域連絡会参加団体数	6団体	7団体	6団体						
◇指標に対する達成状況 【S→5点/A→4点/B→3点/C→2点/D→0点】			◆選択した指標＝活動指標							
□		■		□		□				
S	目標を大幅に上回った	A	目標どおり達成した	B	おおむね達成した	C	目標に達しなかった	D	取組を行わなかった	
所管課評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					理由				
有効性・必要性 （評価点×2）	□	■	□	□	□	市が就労支援を推進する上で、最も関わりが大きい関係機関・団体による連絡会であり、意見・情報交換、連携のほか、地域雇用の創出を目的とした事業について検討を進めている。関係機関との連携を進める上で、有効性は高い。				
雇用・就業効果 （評価点×1）	□	□	■	□	□	就労支援事業を推進していくための情報交換を行うほか、地域連絡会での連携による合同就職面接会等の共催事業実施など、一定の効果がある。				
所管課総合評価	達成状況	4	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	15	総合評価	B

専門部会評価	高い ←-----→ 低い 5 4 3 2 1					専門部会意見				
有効性・必要性 （評価点×2）	□	■	□	□	□	所管課評価のとおりとする。				
雇用・就業効果 （評価点×1）	□	□	■	□	□					
専門部会総合評価	達成状況	4	有効性	8	雇用・就業効果	3	総合評価点	15	総合評価	B

今後の進め方				
■	□	□	□	□
拡大・拡充	現状維持	要改善	事業縮小	廃止・中止
今後の課題・取組について	引き続き参加機関を拡大していく必要がある。（平成28年度より障害者就労支援団体の参加を予定）			

就労支援推進委員会の意見等	部会の評価は妥当である。さらなる連携拡大に向け参加機関の拡大に努められたい。
---------------	--